



## 2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社中央製作所

上場取引所 名

コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経営企画室長 (氏名) 柘植 良男

TEL 052-821-6127

四半期報告書提出予定日 2021年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	710	19.2	93		70		70	
2021年3月期第1四半期	596	23.7	98		73		73	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 55百万円 ( %) 2021年3月期第1四半期 56百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	91.66	
2021年3月期第1四半期	95.49	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	4,701	2,214	47.1
2021年3月期	4,487	2,270	50.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 2,214百万円 2021年3月期 2,270百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		0.00	0.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,950	35.2	5		6		5		6.47
通期	4,500	38.2	80		85		60		77.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	784,300 株	2021年3月期	784,300 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	10,936 株	2021年3月期	10,921 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	773,375 株	2021年3月期1Q	773,504 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
3. その他	8
(1) 生産実績	8
(2) 受注実績	8
(3) 販売実績	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染防止措置であるワクチンの接種が進んだ米中を主体とした海外経済の回復を背景に輸出は堅調に推移する基調にありました。一方、国内のワクチン接種の遅れや感染拡大の対策強化を背景とした内需の回復の遅れから、各企業の業績回復のばらつきが顕著となり、設備投資においては投資姿勢の慎重化がみられる状況でありました。

このような経済状況の中で、当社グループとしては、従業員ならびにお客様の健康・安全を最優先として操業を維持しながら、新規顧客の獲得、既存顧客への新価値提供のため新製品、新技術の開発に注力するとともに、競争力強化のためのコスト低減などの取り組みに注力し、受注・売上確保に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は887百万円(前年同四半期比26.5%増)、売上高は710百万円(前年同四半期比19.2%増)となりました。損益については、営業損失93百万円(前年同四半期は営業損失98百万円)、経常損失70百万円(前年同四半期は経常損失73百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失70百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失73百万円)の計上となりました。

今後におきましては、新型コロナウイルスの企業業績への影響が残ることによる設備投資の慎重化や半導体部品の不足による納期遅延などが懸念されるものの、業績が持ち直している製造業や情報通信業では、中長期の成長につながる投資や次世代自動車やデジタル化需要、DXを活用した合理化・省力化に向けた投資は回復基調にあると判断しています。こうしたニーズに対して積極的な提案営業を行い、受注・売上の確保に努めてまいります。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

#### (電源機器)

電源機器につきましては、電池業界、自動車関連業界ならびに電子部品業界などを中心に、様々な個別仕様にお応えするとともに、通信機能搭載などの多台数案件にも注力し受注確保に取り組んでまいりました。その結果、受注高は296百万円(前年同四半期比84.1%増)、売上高は256百万円(前年同四半期比11.0%増)となりました。

今後につきましては、電子部品業界を中心に多様な市場のニーズに応えるべく電源装置のラインアップの拡充を図るとともにコストダウンに力を入れ、受注・売上の拡大に努めてまいります。

#### (表面処理装置)

表面処理装置につきましては、自動車関連業界、電子部品業界などを中心に、新規および更新需要の掘り起こしに注力してまいりましたが、受注高は273百万円(前年同四半期比0.9%増)、売上高は127百万円(前年同四半期比21.0%減)となりました。

今後につきましては、省力化・省人化ならびにIoT技術を活用した予防保全システムであるCCCS-M(当社グループ商品名)の提案および既存装置の改良・改善提案により受注・売上の確保に努めてまいります。

#### (電気溶接機)

電気溶接機につきましては、国内市場においては自動車関連業界、鋼製家具業界などを中心に、新規及び更新需要の掘り起こしに注力してまいりました。また、海外市場においても海外代理店との連携を密にして受注確保に努めてまいりました。その結果、受注高は141百万円(前年同四半期比58.1%増)、売上高は、177百万円(前年同四半期比92.4%増)と増加いたしました。

今後につきましては、自動車関連業界および鋼製家具業界を中心に、更なる市場開拓を行い、お客様のニーズに合った新商品を市場投入し、受注・売上の確保に努めてまいります。

#### (環境機器)

環境機器につきましては、表面処理装置に付帯する機器として販売に取り組んでまいりました。その結果、受注高は53百万円(前年同四半期比14.3%増)、売上高56百万円(前年同四半期比0.1%減)となりました。

今後につきましては、引き続きコストダウンに取り組んでまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.8%増加し3,699百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が124百万円減少したものの、現金及び預金が141百万、仕掛品が153百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.2%増加し1,002百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.8%増加し4,701百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15.3%増加し1,937百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が74百万円、その他が182百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.4%増加し550百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて12.2%増加し2,487百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し2,214百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね当初の予想の範囲内であるため2021年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,435,331	1,576,808
受取手形及び売掛金	908,707	783,783
電子記録債権	403,644	406,159
商品及び製品	74,300	58,646
仕掛品	523,669	677,489
原材料及び貯蔵品	90,060	101,533
その他	61,699	95,528
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	3,497,112	3,699,648
固定資産		
有形固定資産	285,997	285,705
無形固定資産	79,253	72,319
投資その他の資産	625,083	644,191
固定資産合計	990,334	1,002,215
資産合計	4,487,446	4,701,863
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	529,015	603,408
短期借入金	740,000	740,000
未払法人税等	3,786	3,937
その他	406,989	589,668
流動負債合計	1,679,791	1,937,013
固定負債		
長期借入金	40,000	40,000
役員退職慰労引当金	113,750	-
退職給付に係る負債	275,271	278,541
その他	108,036	231,571
固定負債合計	537,057	550,112
負債合計	2,216,848	2,487,126
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,379,776	1,308,889
自己株式	△16,077	△16,098
株主資本合計	2,092,284	2,021,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172,510	185,778
為替換算調整勘定	5,803	7,581
その他の包括利益累計額合計	178,313	193,359
純資産合計	2,270,598	2,214,737
負債純資産合計	4,487,446	4,701,863

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	596,238	710,485
売上原価	472,891	575,505
売上総利益	123,346	134,980
販売費及び一般管理費	221,411	228,822
営業損失(△)	△98,065	△93,842
営業外収益		
受取利息	70	67
受取配当金	4,434	4,750
為替差益	-	3
雇用調整助成金	21,984	-
補助金収入	-	19,617
その他	552	872
営業外収益合計	27,040	25,310
営業外費用		
支払利息	1,592	1,612
持分法による投資損失	1,120	-
為替差損	68	-
その他	128	343
営業外費用合計	2,910	1,955
経常損失(△)	△73,935	△70,487
特別利益		
固定資産売却益	-	19
特別利益合計	-	19
特別損失		
固定資産処分損	15	-
特別損失合計	15	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△73,950	△70,467
法人税、住民税及び事業税	469	469
法人税等調整額	△560	△51
法人税等合計	△91	418
四半期純損失(△)	△73,858	△70,886
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△73,858	△70,886

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△73,858	△70,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,375	13,268
為替換算調整勘定	△613	1,777
その他の包括利益合計	17,761	15,045
四半期包括利益	△56,097	△55,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△56,097	△55,840
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、従来、販売手数料として販売費及び一般管理費に計上していた、顧客に支払われる対価の一部を、売上高から控除して表示する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、収益認識会計基準等の適用による、当第1四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## 3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況(自2021年4月1日至2021年6月30日)

## (1) 生産実績

当第1四半期連結累計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	321,036	23.7
表面処理装置	227,918	△20.8
電気溶接機	179,020	45.8
環境機器	57,109	△29.5
その他	64,927	△52.5
合計	850,012	△4.3

(注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第1四半期連結累計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	296,291	84.1	475,120	106.3
表面処理装置	273,536	0.9	956,814	93.1
電気溶接機	141,435	58.1	144,100	△6.2
環境機器	53,339	14.3	32,851	△26.0
その他	122,981	△8.0	128,645	△44.3
合計	887,583	26.5	1,737,532	50.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第1四半期連結累計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	256,714	11.0
表面処理装置	127,863	△21.0
電気溶接機	177,983	92.4
環境機器	56,158	△0.1
その他	91,765	68.8
合計	710,485	19.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。